

10月は食品ロス削減月間

【ロスゼロ×東大阪市】

ラグビーの聖地・花園でエシカルイベント

食品ロス削減を目指す株式会社ロスゼロ(大阪市西区 代表文美月)は、包括連携協定を締結している東大阪市内にて開催されるラグビーイベント「マスターズ花園」の開催記念イベントに出展します。食品ロス予備軍となった食べ物を販売し、幅広い年代層へ食品ロス削減を呼びかけます。

10月は食品ロス削減月間！



マスターズ花園開催記念イベント

■マスターズ花園開催記念イベント

かつてラグビーの聖地花園を夢見た高校ラグビーOBチームによる交流大会が花園ラグビー場にて開催され、その隣の噴水広場で、モノづくりワークショップや企業PRブースが出展します。東大阪市の多様な魅力を体験することができます。

<https://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000034563.html>

■ロスゼロストア詳細

場所：花園中央公園 花園ハッピーパークエリア
公民連携企業・団体 PR コーナー
日時：10月8日(土) 10時～17時

■ロスゼロ×東大阪市 包括連携協定

ロスゼロは2021年1月25日に東大阪市内と包括連携協定を締結しました。①子ども・子育て、②教育、③都市・環境、および東大阪市民のサービス向上と地域の活性化を推進する本協定の目的に伴う事業で2社が連携及び協力しています。

また、ロスゼロは東大阪市内と協力し、市内のこども食堂の支援をしています。



■販売商品例

・ロスゼロのオリジナルブランド「Re:You(りゆう)」のアップサイクル(※1)食品より

『Re:You チョコレート』

賞味期限を残したまま行先なくなったチョコレートの未利用原材料を利用

トッピングの果物は規格外の果物を優先
神戸市ふるさと納税返礼品に採択



『気仙沼みなどいちご』

気仙沼産の流通先なくなった規格外のいちごを利用

キューブ型チョコレートにすることで、不揃いいちごがかわいい見た目に
2022年6月アップサイクル商品コンテストにて「JR東日本賞」受賞

・その他3分の1ルール(※2)や外装不良などの原因で発生した余剰商品

※1 本来捨てられるはずだった材料をより価値のあるものに作り変えること

※2 食品の納入期限を賞味期限の3分の1以内とする流通・小売業界特有の商習慣



■ロスゼロ概要

日本の食品ロスは年間522万トン発生しています(R2 農水省推計)。

ロスゼロは「もったいない」食べ物を活かすことで持続可能な社会の実現を目指し、2018年4月より、フードシェアリングサービス「ロスゼロ」を通じて、作り手と食べ手をつなぎ、食品ロスを削減するプラットフォームを運営しています。

食品製造や流通段階で行き場を失った余剰・規格外品食品を消費者に直接つなぐEC(BtoC)事業、サブスクリプション「ロスゼロ不定期便」のほか、未利用の原材料を使ったアップサイクル食品 DtoC 事業を運営しています。

2020年「食品産業もったいない大賞」特別賞を受賞。

2021年 東大阪市・川西市と包括連携協定を締結。

2022年 大阪府と事業連携協定を締結。



・代表取締役 文美月

・設立 2015年1月(ロスゼロ事業開始 2018年4月)

・〒550-0014 大阪市西区北堀江1-1-21 四ツ橋センタービル 9F

・資本金(資本準備金含む) 6,000万円

・URL: <https://www.losszero.jp/>

■本件に関するお問合せ先

株式会社ロスゼロ 広報担当：前川麻希

電話：06-4708-7802 FAX：06-4708-7810

メールアドレス：support@losszero.co.jp